

1・本園の教育目標

幼児一人ひとりの可能性を広げるために、幼児の主体的な遊びを十分に確保し、自発的に遊べる保育環境の中で、友だちどうしのかかわりを大切にした教育を目標としている。また「食育」として、食べることは生きていく上での最も大切なことと位置づけ、様々な取り組みをしています。幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友だちと十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2・本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・活発に身体を動かし、基礎体力の向上・体力増進を行う。
- ・保育内容については、状況に合わせて変更を検討し、柔軟に対応する。

3・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況と今後の課題
保育の計画性について	子どもたちの発達状況・様子に合わせて保育計画を検討し、進めてきた。
保育のあり方、 幼児への対応について	安全管理や、感染症対策などに気を付け安全・安心の中で保育を行えるようにしてきた。
保護者への対応について	個々に合わせての丁寧な対応を行い、安心して幼稚園へ送り出してもらえるように取り組んできた。
開かれた幼稚園づくり について	屋上開放を行い、幼稚園への見学も個別対応を行い、一人ひとり丁寧に対応を実施してきた。
研修と研究について	全体で集まることはなかなか難しいが、職員同士がお互いを知ることができるような研修や、安全管理についての研修などに取り組めた。

4・学校評価の具体的な目標や計画の総合的な結果評価

コロナからの制限が緩和され、保護者の来園や園児の行事についても様々な状況に合わせて取り組めるように変更してきた。

5・学校関係者評価

保護者の方々にも、コロナ過から少しずつ来園していただく機会が増え、子どもたちの様子を見てもらう機会が増えてきた。

